

す。

- ・聖書にも、「第3の居場所」を提供するストーリーが記されています。

大切なポイント

1. 12年長血を患った女性

- ・ストーリーの説明：

今から約2千年前、12年間も出血が続き悩み苦しんだ、一人の気の毒な女性がいました。彼女は多くの医者にかかりましたが、病状が良くなりませんでした。そればかりか、ひどい目に合わされました。彼女はそのために自分の持っているものを、すべて使い果たしてしまいました。それは、どれほど大きな痛みであったのでしょうか。
- ・女性の苦しみは尋常ではありませんでした。⇒「3重の痛み」
 - ① 医者からひどい目にあい、さらに悪くなった。
 - ② 持ち物をすべて使い果した。
 - ③ 社会的差別を受けた（当時のユダヤ社会では不浄とされ汚れた人）
- ・つまり、この女性は病状快復のために、できるかぎりのことをしました。しかし何の成果も見られませんでした。
- ・その時、女性はイエスのうわさを耳にしました。イエスはガリラヤ地方はじめ各地で、病人を癒しておられたことを耳にしました。
- ・そこで女性は、群衆ともにやって来て、うしろから密かにイエスの衣に触れました。聖書はそのときのことを次のように記しています。

5:29 **すると、すぐに血の源が乾いて、病気が癒されたことをからだに感じた。そして、イエスもすぐに分かりました。**

5:30 **イエスも、自分のうちから力が出て行ったことにすぐ気がつき、群衆の中で振り向いて言われた。「だれがわたしの衣にさわったのですか」**
- ・聖書はその時の女性の様子を次のように記録しています。

5:33 **彼女は自分の身に起こったことを知り、恐れおののきながら進み出て、イエスの前にひれ伏し、真実をすべて話した。**
- ・愛する皆さん！ ここで、注目したいことは、イエスが女性にかけたおことばです。⇒ **マルコ福音書5章**

5:34 **娘よ。あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。苦しむことなく、健やかでいなさい。」**
- ・女性の長年にわたる重い病気は、イエスの衣に触れたことによって、すぐに癒されたのでした。女性はどれほど喜びに包まれたことでしょうか。しかし、彼女が喜んで大声を上げたとは、記していません。

5:33 彼女は自分の身に起こったことを知り、恐れおののきながら進み出て、イエスの前にひれ伏し、真実をすべて話した。

- ・私が思うには、彼女は血の源が乾き、自分の病気が癒されたことをからだで感じましたが、その事実はあまりに大きかったと思います。それは自分に期待、願望以上の事が即座に起こったからでした。
- ・イエスに出会うとは、このような経験でした。女性がすこやかに生きる祝福が与えられた場所でした。

2. 私たちがここで学ぶこと

1) 女性には居場所がなかった

- ・女性は自分の病状快復のため財を費やしましたが、一向に治りませんでした。くつろげる場所、真のやすらぎを得ることができる場所、「第3の居場所」がありませんでした。
- ・今の時代、医学や科学が進み非常に発展した時代となりました。昨今では、SNSが普及し、世界中の情報、知識、ニュースが瞬時に、しかも私たちの手の内に入る時代となりました。
- ・しかし、いかがでしょうか。私たちは本当の居場所を持っているでしょうか。本当の居場所を持っていないために、さまざまな問題が発生していることは事実です。本当の居場所を求めて、人は仕事や勉学、そして宗教の中で真の居場所を手に入れようとしています。
- ・本当の居場所⇒「第3の居場所」と言える場です。聖書は、そこは世界を作られた創造神の元であると教えています。イエスは世界の初めからおられたお方です。
- ・弟子ヨハネはイエス・キリストについて、こう述べました。ヨハネ福音書1章1:1 はじめにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばが神であった。
- 1:2 この方は、初めて神とともにおられた。
- ・世界の初めからおられたお方、それがイエス・キリストです。聖書は次のように記しています。
- 1:14 ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。
- ・12年の長血を患った女性は、このイエス・キリストにお出会いしました。

2) 女性は願望の持ち主でした。

- ・彼女の心の内には、治りたい、快復したい、元気になりたいという強い願望が

- ありました。それがイエスの衣に触れるというモチベーションでした。
- ここは大切なポイントと思います。人はモチベーションによって行動を生みだします。モチベーションとは、やる気（意志）、動機のことです。やる気、動機がなければ、人は前に向かう行動には進みません。
 - 現代人が抱える問題のひとつは、モチベーションにかけることです。学生は勉強するモチベーションに欠けるため、前に進みません。仕事をする社会人は仕事に「やる気」が沸いてきません。それらの背後には、それなりに理由はあると思います。
 - 今の時代の問題は「やる気」、「動機」を失っている人が余りに多いことです。物資充満で豊かで恵まれた環境の下にいと、大切なモチベーションが簡単に見失われてしまいます。世界の開発途上国をご覧ください。彼らは例外なく、高いモチベーションを持っています。
 - 同じように、この女性は高いモチベーション保持者でした。彼女が置かれた病状が、彼女にモチベーションを高めてくれました。私達も苦難や苦しみ、戦い、人生の試練などは避けたいと願います。しかし、神はあなたに許されている苦難は決して無ではありません。そこには、神の計画があります。この女性がそうでした。
 - もう一つ、大切なことがあります。

3) 女性は願望をイエスに向けた

- 当時のイスラエル社会で、人々はメシア（救世主）を待望しています。イスラエルはローマ帝国支配下に置かれ、その圧制から逃れたい、自分たちのイスラエル国家を築きたいという願いがありました。つまりローマ帝国から救い出してくれる救世主（メシア）を待望していました。
- 聖書を読んでいきますと分かることは、イエスがこの女性を癒されたことは、イエスがメシアの「しるし」であることです。紀元前の時代、すなわち旧約聖書時代の預言者の一人であったイザヤは、次のように語りました。イザヤ書 35:1 荒野と砂漠は喜び、荒れ地は喜び踊り、サフランのように花を咲かせる。 35:2 盛んに花を咲かせ、歡喜して歌う。
これに、レバノンの栄光と、カルメルやシャロンの威光が授けられるので、彼らは主の栄光、私たちの神の威光を見る。
- 35:5 そのとき、目の見えない者の目は開かれ、耳の聞こえない者の耳は開けられる。
- 35:6 そのとき、足の萎えた者は鹿のように飛び跳ね、口のきけない者の舌は喜び歌う。

- ・すなわち、イエスのわざはメシアであることの立証でした。12年長血を患った女性は、このメシアに触れたのでした。

3. 人は「第3の居場所」を求めている

- ・今の時代も、多くの人々は安らぎの場を求めています。一時の安らぎの場ではありません。真の安らぎの場です。居場所が不明のため、多くの人々は疲れています。
- ・聖書は「神は愛です」と教えています。天地をお造りくださった創造神は、生きておられます。それは歴史の中で見ることができます。使徒の働き 17 章には次のように書かれています。

17:28 私たちは、神の中に生き、動き、また存在しているのです。

- ・私たちが神を否定したとして、「私たちは、神の中に生き、動き、また存在しているのです。」そして、このお方（神）は、決して遠くにおられません。いいえ、近くにおられるお方です。なぜなら、神は愛であるからです。

{例 話} 「近くにおられる神」

- ・米国コロラド州の William F l e y (ウイリアム・フレイ) 師は聖公会の牧師でした。ある時、教会に John (ジョン) という盲目の青年がいました。目の不自由な John に、William 牧師は親切に本を読んで上げました。
- ・ある日のこと。William 牧師は John に「君はどうして失明したのかい？」と尋ねました。すると彼は「13歳の時、薬品に触っていたところ、突然爆発し失明した。」と言いました。そしてその時、君はどう思ったのかと尋ねました。
- ・John は「私の人生はもう終わりだと思った。生きる希望を無くし、神を憎んだ。はじめの6か月間は、生きる意欲もなかった。自分の部屋で一人閉じこもっていた。」と答えました。
- ・William 牧師は、では、どうようにして立ち直ったのか、尋ねました。すると John は次のように証しました。
「ある日、父が私の部屋に入って来てこう言った。John, 冬が近づいているから風よけの窓枠を付けなければならない。それはお前の仕事だからね。今夕帰ってくるまでに、それを取り付けておくように。」
- ・父はそう言い終わると、ドアの扉を閉めて部屋を出ていきました。John は言いました。「いったい。父は何を考えていたのだろうか。自分は目が見えないことは、十分知っていたはずではないか。心の中は怒りの思いで、満ちていたのです。」
- ・しかし John はガレージに入って窓枠を見つけ、梯子をかけて窓枠を付け始

めたのでした。彼は「いっそ、梯子から落ちてケガをしてやろうかと。そうならば、父は目が不自由で、さらに肢体不自由の息子を持つあわれな父親となるであろう。」と考えました。

- さらに John の話しは続きました。「その日、自分はすべての窓枠を取り付けた。後になって分かったことでしたが、父は梯子の下で、僕が仕事をしている間ずっと、手を伸ばせば届くほどの所にいてくれたのでした。

それは ⇒ 「父の愛」でした

- 天地を造られた神は、愛のお方です。私たち完全ではない親であっても、子どもを守ります。そして子どもがケガしないよう助けます。助け手です。
- ましてや天父神は私たちを救うために、イエス・キリストをお送りくださいました。イエスは十字架にかかり死んでくださいました。それは私たちが犯した罪のためです。居場所がなく、心騒がせる者のためです。
- 大丈夫です、イエスは死を破り復活してくださったからです。愛の手で、いつも支えてくださるお方であるからです。イエス・キリストの元にこそ、本当の居場所があります。そこが本当の「第3の居場所」です。

ま と め

主 題：「あなたの居場所はどこですか」

—第3の居場所—

- 聖書は、あなたに「第3の居場所」を提供しています。
私たちはどうすれば良いでしょうか。私たちは今日、12年長血を患った女性から学びました。彼女は自分の居場所を見つけた人でした。

1. 女性は治りたいという願望の人でした
2. イエスは彼女の願望に応答された
3. イエスは祝福のことばを与えられた。

5:34 娘よ。あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。苦しむことなく、健やかでいなさい。」

*God bless you !